

薬用植物園ポストカード 使用植物一覧

「薬用植物園からの花だより」

熊葉創立125周年記念事業

	植物名	科名	概説
1	1 アンズ	バラ科	熟した実を薬用酒、ジャムに。種子(核)を杏仁という。咳止め等に
	2 ホップ(雄花)	アサ科	雌花をビールの苦味、発酵の蛋白除去に。利尿に。
	3 サンシュユ	ミズキ科	果肉を山茱萸(さんしゅゆ)という。疲労回復、強壮等に
	4 フクジュソウ	キンポウゲ科	福寿草。有毒植物、強心成分を含む
	5 ウスユキクチナシグサ	ゴマノハグサ科	熊本県天草市にのみ生育。可憐な希少植物
	6 ボタン	ボタン科	根皮を牡丹皮という。鎮静、鎮痛、清熱涼血、活血等に
2	1 シャクヤク	ボタン科	貯蔵根を芍薬という。鎮静、鎮痛、清熱涼血、活血等に
	2 カンレンボク(雌花)	ミズキ科	喜樹ともいう。単離成分カンプトテシンから肺ガンの薬に
	3 ベニバナ	キク科	花冠を乾燥したものを紅花という。活血、通経。口紅等に
	4 アマチャ	アジサイ科	葉を乾燥して甘茶に、灌仏会(4/8)のお祭りに。矯味甘味料
	5 アマ	アマ科	種子を亜麻仁(あまにん)という。去風止痒、茎葉は止血等に
	6 ゼニアオイ	アオイ科	葉・花を乾燥。咽の痛みに。花が五銖錢ほどの大きさ
3	1 ツユクサ	ツユクサ科	開花時の全草。解熱、下痢止めに。花で染色
	2 ゲンノショウコ	フウロソウ科	現の証拠。開花時の全草(地上部)。煎じて下痢止めに
	3 センノウ	ナデシコ科	蕃滋園にも栽培、希少植物。剪紅紗花、全草を止瀉に
	4 ガガイモ	ガガイモ科	日本書紀にも白藪として記載。乳液をイボ取り等に
	5 リンドウ	リンドウ科	根を竜胆という。苦味健胃。苦いものは苦味健胃作用あり
	6 オミナエシ	オミナエシ科	根を敗醤根という。乾燥すると醤油の匂い。解毒、利尿等に
4	1 ヒゴタイ	キク科	阿蘇の希少植物。園に100株位が生育。大陸遺存種
	2 シクンシ	シクンシ科	蔓性植物。果実を使君子という。駆虫、整腸、健胃に
	3 クコ	ナス科	果実を枸杞子という。牧野富太郎先生が愛食した。滋陰に
	4 モクゲンジ	ムクロジ科	蕃滋園由来の植物。種子から発芽した子株がある
	5 キランソウ	シソ科	別名地獄の釜の蓋、医者要らず。全草を解熱、解毒に
	6 ワタ	アオイ科	和ワタ。他にアメリカワタ等がある。種子には殺精子作用
5	1 マオウ	マオウ科	エフェドリンを含む。地上部を麻黄、発汗解表、利水等に
	2 大賀ハス	ハス科	2000年の眠りから覚め発芽した蓮の分与による
	3 エキナセア	キク科	別名ムラサキバレンギク。アメリカの民間薬。免疫亢進に
	4 オニユリ	ユリ科	鱗茎を百合(ひやくごう)という。解熱、咳止めに
	5 アシュワガンダ	ナス科	インドの秘薬。全草を免疫亢進等に。アルカロイド含む
	6 キササゲ	ノウゼンカズラ科	種子を利尿薬に。アメリカキササゲをカタルパという
6	1 カノコソウ	オミナエシ科	根及び根茎。ヒステリー、精神過敏、心悸亢進に
	2 タツタソウ	メギ科	北海道に自生。熊本では暑すぎて育ち難い
	3 キンセンカ	キク科	民間薬として、全草を、利尿、発汗、瀉下、通経等に
	4 カキドオシ	シソ科	全草(地上部)を小児のカンの虫に。抗酸化力強い
	5 コガネバナ	シソ科	根が黄色いことより。根を黄芩という。清熱燥湿、安胎等に
	6 カブ	アブラナ科	古事記にスズナとして記載。根をすりおろして霜焼けに

7	1	オタネニンジン	ウコギ科	薬用ニンジン。食薬に。根を大補元気、健脾益気等に
	2	ネムノキ	マメ科	夜は葉が眠ることより。茎葉を水虫、皮膚の荒れに
	3	キキョウ	キキョウ科	秋の七草。根を桔梗根という。咳止めに甘草と配合、桔梗湯に
	4	トケイソウ	トケイソウ科	パッションフルーツ。花が時計に似ている。果実を食用に
	5	アソノコギリソウ	キク科	阿蘇に自生するノコギリソウ。葉がノコギリに似る
	6	ゴボウ	キク科	根を食用にする。種子を牛蒡子という。腫れ物、咽の痛み等に
8	1	ミツマタ	ジンチョウゲ科	茎が三又に、和紙の原料。蓄を多汗症の改善に
	2	セリバオウレン	キンポウゲ科	葉が芹の葉に似る。根茎を黄連という。清熱燥湿、瀉火解毒に
	3	アズキ	マメ科	種子(小豆)を食薬に。二日酔い、消炎、利尿、緩下に
	4	トキワマンサク	マンサク科	蕃滋園由来の植物。花を止血、葉を下痢止め等に
	5	サギソウ	ラン科	花が鷺が舞う形に似る。小国に自生する希少植物
	6	ヒマラヤサクラ	バラ科	ネパールの2000m位に自生。園では11月末に開花
9	1	トウワタ	ガガイモ科	蝶オオカマダラの食草。有毒植物。北米原産
	2	ツルニンジン	キキョウ科	根を羊乳という。去痰に。別名ジーソブ。全国に分布、食用に
	3	タバコ	ナス科	ニコチンを含む。葉をタバコに。有毒植物。"禁煙"
	4	スズカケソウ	ゴマノハグサ科	徳島県に自生する希少植物。蔓の先から根が出て増える
	5	カリン	バラ科	香りがでた熟した果実を、咳止め。焼酎、蜂蜜漬けに
	6	セツブンソウ	キンポウゲ科	節分の季節に咲。園芸植物
10	1	シコンノボタン	ノボタン科	亜熱帯の園芸植物。挿し木で増やすことができる
	2	ニフトコ	スイカズラ科	茎を接骨木という。小鳥の止り木。花を発汗、解熱、茎を打撲に
	3	ヘクソカズラ	アカネ科	香りから屁糞葛とよぶ。生の果実をつぶして霜焼けに
	4	トウオガタマ	モクレン科	花の香りが、バナナ、メロンなどに類似。2~3mの低木
	5	ナツメ	クロウメモドキ科	果実を大棗という。食薬に。補脾胃、養心安神等に
	6	ハマナス	バラ科	花蕾を玫瑰花(まいかいか)という。止痛、止瀉、収斂等に
11	1	チョウマメ	マメ科	花が蝶が舞うように見える。黄、白等の色あり
	2	ツクシムレスズメ	マメ科	熊本に自生する希少植物。園に1株あり
	3	ダイズ	マメ科	大豆。昔、黒大豆はキノコ中毒・フグ中毒の解毒に。食薬に
	4	マツモトセンノウ	ナデシコ科	阿蘇に自生する希少植物。草原再生で増えている
	5	ダイダイ	ミカン科	果皮を橙皮という。健胃等に。果肉はクエン酸が多く食用に
	6	ツブキ	キク科	根茎を秋に採集、食中毒、下痢。葉は必要時、打撲等に
12	1	ゴシュユ(葉の跡)	ミカン科	木の落葉後の幹を観ると面白い形が残っている
	2	ピンポンノキ	アオギリ科	中国語の頻姿(ピンポー)由来の呼び名。竹細工の様な花
	3	イカダカズラ	オシロイバナ科	別名ブーゲンビリア、花のように見えるのは総苞。
	4	モモ	バラ科	種子を桃仁という。破血去瘀等。葉はアセモ、花は緩下に
	5	クチナシ	アカネ科	果実を山梔という。清熱、涼血、解毒。黄、青、緑の食用色素
	6	ホソバタイセイ	アブラナ科	根を板藍根(ばんらんこん)という。抗インフルエンザウイルス活性等に